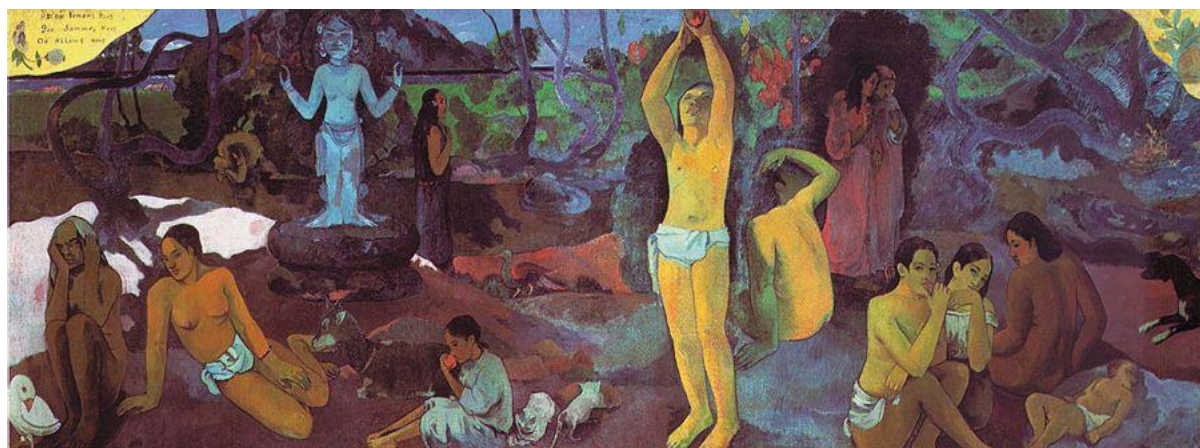


宗教学研究室紀要

THE ANNUAL REPORT ON PHILOSOPHY OF RELIGION



2021 vol.18

京都大学 文学研究科 宗教学専修 編

オンライン刊行物 http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/religion/rel-top_page/

<公募論文>

夢と歴史性

——デリダ『グラマトロジーについて』におけるルソーの「欲望」読解

森脇 透青 (3)

ガブリエル・マルセルにおける「自我中心性 (égocentrisme)」について

鳥尾 理沙 (19)

レヴィナス現象学の厳密さ

——「反復 (itération)」概念の方法論的射程

林 航平 (35)

<研究ノート>

ニーチェ思想にみる「誘惑」というテーマ

——『曙光』を中心に

丸本 高己 (82)

バルトの解釈学における〈服従〉

石川 えりや (92)

『善の研究』における「要求」とその自覚

竹内 彩也花 (103)

メルロ=ポンティの超越論的論証と懐疑論の消息

鳥居 千朗 (115)

ジョルジュ・バタイユにおける聖性について

——〈異質学〉における〈物質〉と〈社会〉

林 淳 (129)

編集後記

(144)

——宗教学研究室紀要編集委員——

杉村靖彦	京都大学大学院文学研究科	教授
伊原木大祐	京都大学大学院文学研究科	准教授
長坂真澄	早稲田大学国際教養学部	准教授
下田和宣	成城大学文芸学部	准教授
根無一行	京都大学文学研究科	非常勤講師

——第 18 号執筆紹介——

森脇透青	京都大学大学院文学研究科	博士課程
鳥尾理沙	京都大学大学院文学研究科	博士課程
林航平	京都大学大学院文学研究科	修士課程修了(現・読売新聞社)
丸本高己	京都大学大学院文学研究科	修士課程
石川えりや	京都大学大学院文学研究科	修士課程
竹内彩也花	京都大学大学院文学研究科	修士課程
鳥居千朗	京都大学大学院文学研究科	修士課程
林淳	京都大学大学院文学研究科	修士課程

****編集後記****

本年度の研究室紀要は、論文 3 本に加えて、前号から開始した研究ノートが 5 本という内容になりました。本年度も本研究室の発展と学術界への寄与を願って、宗教学研究室紀要を刊行いたします。また鳥居千朗さんのご尽力によって、紀要の体裁についても一新いたしました。

各論文の査読を引き受けていただきました先生方に、この場を借りて、心より御礼申し上げます。

(石川えりや・鳥居千朗・鳥尾理沙・林淳・若林和哉記)

Articles

Le rêve et l'historicité : la lecture du « désir » de Rousseau dans <i>De la grammatologie</i>	MORIWAKI Tosei	3
“Egocentrism” in the Philosophy of Gabriel Marcel	TORIO Lisa	19
La rigueur de la phénoménologie de Levinas. Portée méthodologique de la notion de « itération »	HAYASHI Kôhei	35
Nietzsche's Critique of Morality and the Concept of “Temptation”	MARUMOTO Koki	82
« Die Unterordnung » in der Hermeneutik von Barth	ISHIKAWA Eliya	92
Self-awareness of Desire in Nishida's <i>An Inquiry into the Good</i>	TAKEUCHI Sayaka	103
L'argument transcendantal Merleau-Pontien et les nouvelles de scepticisme	TORII Chiaki	115
Sur le sacré chez Georges Bataille : la matière et la société dans l'hétérologie	HAYASHI Jun	129